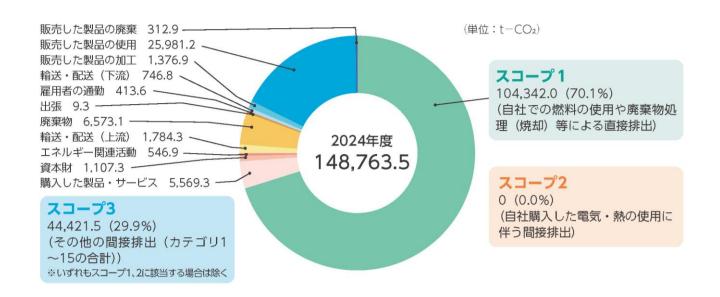
GHGプロトコルスコープ1、2、3排出量(2024年度)

株式会社京都環境保全公社 2025年11月

バリューチェーンを含むサプライチェーンGHG排出量(自社における直接的な排出だけでなく、自社事業における間接的な排出も対象)を把握するために、国際的な算定・開示基準であるGHGプロトコルに基づき、スコープ1、2、3のGHG排出量を算出しています。



スコープ別のGHG排出量はスコープ 1 が70.1%で最大となり、その大部分(97.5%)は廃棄物の焼却処理由来によるものでした。

スコープ 2 については、2023年7月からすべての事業所で再工ネ電力を使用したことにより、電力使用に伴うGHG排出量ゼロを実現しています。

スコープ 3 のGHG排出量は全体の29.9%を占め、カテゴリー別では販売した製品の使用(RPF)が最大の17.5%に上りました。

■算定結果詳細

	算定方法	2024年度		
スコープ		排出量 t-CO ₂	比率 %	
スコープ 1 自社での燃料の使用や工業プロセス による直接排出	燃料使用量や廃棄 物処理量等に原単 位を乗じて算出	104,342.0	70.1	
スコープ2 自社が購入した電気・熱の使用に伴 う間接排出	電力使用量に原単 位を乗じて算出	0	0.0	
スコーブ 3 その他の間接排出 (カテゴリ1〜15の合計) * いずれもスコーブ1,2に該当する 場合は除く		44,421.5	29.9	
スコープ 1 , 2 , 3 合計 サブライチェーン排出量		148,763.5	100	

			1		
スコーブ			2024年度		
		算定方法	排出量 t-CO ₂	比率 %	
カテゴリ1	購入した製品・サービス	部材ごとの調達総額 に原単位を乗じて算 出	5,569.3	3.7	
カテゴリ2	資本財	設備等投資総額に原 単位を乗じて算出	1,107.3	0.7	
カテゴリ3	スコープ1,2に含まれな い燃料及びエネルギー 関連活動	燃料・電力使用量に 原単位を乗じて算出	546.9	0.4	
カテゴリ4	輸送、配送(上流)	積載量・距離に原単 位を乗じて算出	1,784.3	1.2	
カテゴリ5	事業から出る 廃棄物	廃棄物発生量に原単 位を乗じて算出	6,573.1	4.4	
カテゴリ6	出張	旅費総額に原単位を 乗じて算出	9.3	0.0	
カテゴリ7	雇用者の通勤	支給総額に原単位を 乗じて算出	413.6	0.3	
カテゴリ8	リース資産(上流)	対象外			
カテゴリ9	輸送、配送(下流)	積載量・距離に原単 位を乗じて算出	746.8	0.5	
カテゴリ10	販売した製品の加工	対象製品の年間加工 総重量に原単位を乗 じて算出	1,376.9	0.9	
カテゴリ11	販売した製品の使用	対象製品の年間販売 総重量に原単位を乗 じて算出	25,981.2	17.5	
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	製品総重量に原単位 を乗じて算出	312.9	0.2	
カテゴリ13	リース資産(下流)	対象外			
カテゴリ14	フランチャイズ	対象外			
カテゴリ15	投資	対象外			